

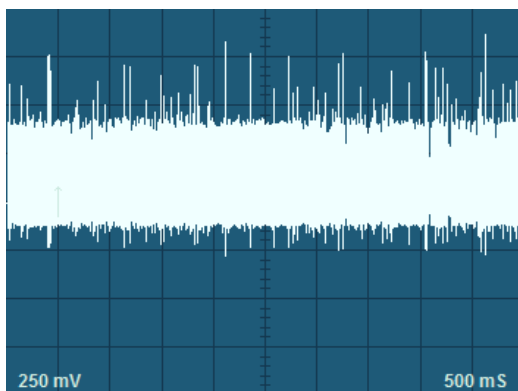
(注) このドキュメントは、機械翻訳されたもので、まだ、人力翻訳/編集がなされていません。誤訳などがある可能性も高いので、英文ドキュメント、又はイタリア語ドキュメントと照らし合わせて、ご確認ください。尚、これらの文書の日本語化を支援して下さる方を募集しています。詳しくは、 nkom@rocketmail.com までご連絡ください。

DigitalAudioAnalyzer で信号を制御

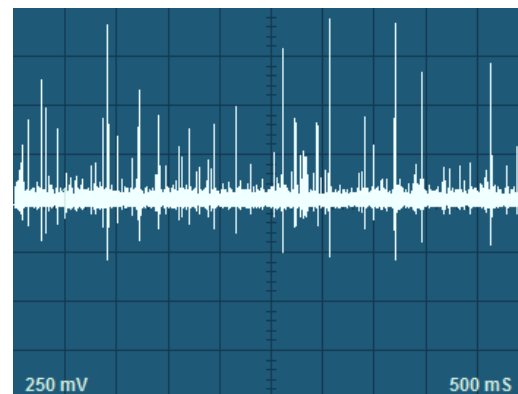
ここから DAA をダウンロード : www.theremino.com/ダウンロード/未分類

セシウムやアメリカシウムできるだけ近い結晶シンチレータへのサンプルを置きます。

、"モノ"を押して、AAD を実行ノブ "タイムベース"すべて左、500 MS 部門は、絵のために 250mV の "CH1"を左下にノブを設定し、"OFF"にしてトリガをかける

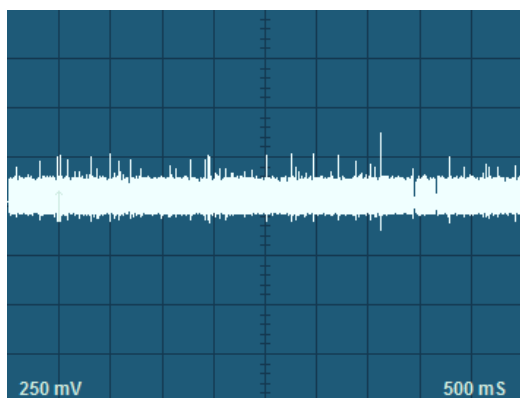


適切な振幅の信号 - セシウム

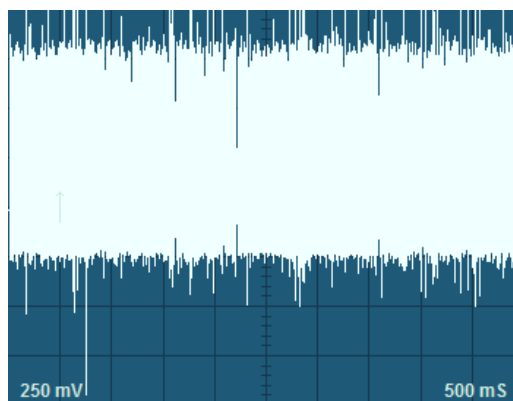


適切な振幅の信号 - アメリカシウム

これらは、最も高いピークのみが、そのスケールから解放され、平方あたり 250mV に調整していることに注意してください。適当な振幅の信号であり、サウンドカードのまさに全範囲を (-1 ボルト +/-) を示してい。グッド信号は非常に低い、または若干高くなるが、以下の 2 つの画像に示されているレベルには必須ではありませんでした。



あまりに低信号



合図が高すぎる

信号の振幅を調整するには、光電子増倍管やオーディオミキサーの入力レベルの電圧を調整することができます。

それは非常に低いミキサーの調整を保持し、信号とノイズの比を最大にするようにチューブのPMT (700 .. 800 ボルト) 上に十分なテンションを上げてもいい。